

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第165期第3四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 静岡瓦斯株式会社

【英訳名】 SHIZUOKAGAS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 戸野谷 宏

【本店の所在の場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【最寄りの連絡場所】 静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号

【電話番号】 054(284)4141(代表)

【事務連絡者氏名】 コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第164期 第3四半期 連結累計期間	第165期 第3四半期 連結累計期間	第164期
会計期間		自 平成23年1月1日至 平成23年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高	(百万円)	93,369	108,337	128,171
経常利益	(百万円)	2,435	6,968	3,947
四半期(当期)純利益	(百万円)	929	3,684	1,743
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,238	4,617	2,173
純資産額	(百万円)	54,787	58,611	55,719
総資産額	(百万円)	109,928	111,672	107,432
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	12.21	50.38	23.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	42.6	45.7	44.4

回次		第164期 第3四半期 連結会計期間	第165期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失()	(円)	4.67	10.88

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第164期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間の売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ16.0%増の108,337百万円となりました。

また、売上高の増加が原料価格上昇等による売上原価の増加を上回ったことなどから、営業利益は前年同期に比べ194.0%増の6,838百万円、経常利益は186.2%増の6,968百万円、四半期純利益は296.6%増の3,684百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

ガス

ガス販売量は、工業用で電力需給調整対応による需要があった昨年と比べ既存需要家設備の稼動が減少したことや卸販売先での需要が減少したことなどから、前年同期に比べ1.7%減の1,058百万 m^3 となりました。

ガス売上高は、ガス販売量が減少したものの、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ18.4%増の94,498百万円となりました。一方、原料価格の上昇等により売上原価も増加しましたが、売上高の増加がこれを上回ったことなどから、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ124.9%増の8,501百万円となりました。

LPG・その他エネルギー

LPG販売は、原料価格の低下に伴うガス販売単価の下方調整があったものの、ガス販売量が増加したことなどにより、売上高は前年同期に比べ1.8%増の8,773百万円となりました。一方、諸経費の増加等により、セグメント利益（営業利益）は10.3%減の613百万円となりました。

その他

地域密着営業の推進によるリフォーム事業売上の増加等により売上高は前年同期に比べ9.2%増の8,997百万円となり、セグメント損益（営業損益）は11百万円増の5百万円の損失となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,240百万円増の111,672百万円となりました。固定資産は、既存設備の減価償却が進む一方で、静岡幹線関連等への投資を行ったことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,452百万円増の86,757百万円となりました。流動資産は、原材料が原料受入のタイミングによる在庫量の増加や原料価格の上昇等により増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,787百万円増の24,915百万円となりました。

負債は、長期借入金が増加しましたが、原料代金決済のタイミングにより買掛金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,348百万円増の53,061百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,891百万円増の58,611百万円となり、自己資本比率は45.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	76,192,950	76,192,950	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 500株
計	76,192,950	76,192,950		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		76,192,950		6,279		4,098

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年6月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,052,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 73,105,000	146,210	
単元未満株式	普通株式 35,950		一単元(500株)未満の株式
発行済株式総数	76,192,950		
総株主の議決権		146,210	

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 静岡瓦斯株	静岡県静岡市駿河区八幡 一丁目5番38号	3,052,000		3,052,000	4.00
計		3,052,000		3,052,000	4.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	24,768	22,032
供給設備	30,363	29,313
業務設備	3,818	3,778
その他の設備	4,451	4,327
建設仮勘定	5,869	9,434
有形固定資産合計	69,270	68,886
無形固定資産	1,998	1,911
投資その他の資産		
投資有価証券	6,495	6,891
長期貸付金	5,554	7,132
繰延税金資産	1,199	1,050
その他投資	1,007	1,109
貸倒引当金	222	224
投資その他の資産合計	14,035	15,959
固定資産合計	85,304	86,757
流動資産		
現金及び預金	455	555
受取手形及び売掛金	11,192	10,999
商品及び製品	314	309
原材料及び貯蔵品	5,908	7,791
繰延税金資産	1,382	1,380
その他流動資産	2,937	3,947
貸倒引当金	63	67
流動資産合計	22,127	24,915
資産合計	107,432	111,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	26,407	23,144
繰延税金負債	2	7
退職給付引当金	2,831	2,523
ガスホルダー修繕引当金	94	94
負ののれん	490	314
その他固定負債	574	449
固定負債合計	30,401	26,534
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,613	7,300
買掛金	2,681	7,296
短期借入金	7,532	6,161
未払金	1,468	1,131
未払法人税等	1,508	1,782
賞与引当金	434	1,030
その他流動負債	2,072	1,824
流動負債合計	21,311	26,527
負債合計	51,713	53,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	36,815	39,841
自己株式	1,550	1,551
株主資本合計	46,132	49,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,524	1,850
繰延ヘッジ損益	5	-
その他の包括利益累計額合計	1,519	1,850
少数株主持分	8,067	7,601
純資産合計	55,719	58,611
負債純資産合計	107,432	111,672

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	93,369	108,337
売上原価	73,040	83,347
売上総利益	20,329	24,990
供給販売費及び一般管理費	18,003	18,151
営業利益	2,325	6,838
営業外収益		
受取利息	77	112
受取配当金	86	76
負ののれん償却額	176	177
雑収入	243	194
営業外収益合計	585	561
営業外費用		
支払利息	449	400
雑支出	26	31
営業外費用合計	475	431
経常利益	2,435	6,968
特別利益		
固定資産売却益	77	-
特別利益合計	77	-
特別損失		
投資有価証券評価損	242	172
特別損失合計	242	172
税金等調整前四半期純利益	2,269	6,796
法人税等	795	2,510
少数株主損益調整前四半期純利益	1,474	4,285
少数株主利益	544	600
四半期純利益	929	3,684

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,474	4,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	326
繰延ヘッジ損益	12	5
その他の包括利益合計	235	331
四半期包括利益	1,238	4,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693	4,016
少数株主に係る四半期包括利益	545	600

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
静岡パイプライン(株) 3,400百万円	静岡パイプライン(株) 4,890百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年9月30日)
減価償却費	8,885百万円	8,057百万円
負ののれんの償却額	176百万円	177百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月24日 定時株主総会	普通株式	304	4.0	平成22年12月31日	平成23年3月25日	利益剰余金
平成23年8月4日 取締役会	普通株式	342	4.5	平成23年6月30日	平成23年9月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期連結累計期間に1,524百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,550百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	329	4.5	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金
平成24年8月8日 取締役会	普通株式	329	4.5	平成24年6月30日	平成24年9月3日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	79,386	8,364	87,750	5,619	93,369		93,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	436	257	693	2,620	3,313	3,313	
計	79,822	8,621	88,443	8,239	96,683	3,313	93,369
セグメント利益又は セグメント損失()	3,779	684	4,463	17	4,446	2,120	2,325

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 2,120百万円には、セグメント間取引消去205百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,325百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	93,971	8,543	102,514	5,822	108,337		108,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	527	229	756	3,174	3,931	3,931	
計	94,498	8,773	103,271	8,997	112,268	3,931	108,337
セグメント利益又は セグメント損失()	8,501	613	9,114	5	9,109	2,270	6,838

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額 2,270百万円には、セグメント間取引消去168百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,439百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益	12円21銭	50円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	929	3,684
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	929	3,684
普通株式の期中平均株式数 (株)	76,042,912	73,140,702

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年8月8日開催の取締役会において、第165期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当総額 329百万円
 1株当たり中間配当額 4円50銭
 支払請求権効力発生日 平成24年9月3日
 並びに支払開始日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

静岡瓦斯株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 浅野 裕史

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 篠原 孝広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。